

国語 解答例

問一 ① わずらい ② 効果 ③ じゅうとく ④ おぼれて ⑤ 留保

⑥ がんちく ⑦ 顕在 ⑧ 試行錯誤 ⑨ 素敵 ⑩ そうほう

⑪ 万策 ⑫ 決裂 ⑬ しゅらば ⑭ かつとう

問二 A いわゆる、 B けれども、 C しかも、 D むしろ、 E だから、

問三 (a) オ (b) エ (c) ア (d) ウ

問四

（解答例1）語るこの意味は、自分の苦しみやふさぎから身を引きはがし、ことがらを時系列に並べ換え、整理することであり、それを対象化するなかで、それらとの関係が変わるということにある。（85字）

（解答例2）自分の苦しみやふさぎにある距離をとり、それを対象化するなかで、それらとの関係が変わり、当初あったのとは別の地平へと移し変えるところに、おのれについて語るこの意味はある。（85字）

・「苦しみやふさぎ」、「対象化」あるいは「距離をとる」という表現は、必須とする。

問五

言葉を果てしなく交わすなかで、同じ気持ちになるどころか、逆に両者の差異はさまざまな微細な点で際立つてくるものであり、それでも相手をもっと理解しようとしてその場に居つづけること、そこにはじめてほんとうのコミュニケーションが生まれる。（115字）

・「差異」、「居つづける」に類する表現が入っていることを正答の条件とする。

問六

「語る／聴く」といったコミュニケーションの成立は、単に表層的な言葉のやりとりではなく、さらには、「思い」や「考え」を共有することでもなく、もっと深い部分での相互の結びつきが前提となると理解できた。辛抱強い言葉のやりとりの末に、互いの差異を思い知らされてはじめて、他者の理解が可能となることを知った。価値観の多様化、社会的、経済的な分断が指摘される現代、コミュニケーションの重要性が注目されるべきだと思う。（二〇二字）

・「コミュニケーション」「差異」の二語が用いられていること。

・表記、字数（適切であるか）

・内容（文章で表現されている内容についてよく理解し、自分の問題として考えているかどうか）